

# 住宅火災から いのちを守ろう



あなたのその習慣が  
火事のたまごを育てていませんか？  
**住宅火災にご注意を！**



京都市消防局  
KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT



## 電気配線（コード）



### 《事例》

- コードに負荷がかかり、銅線や被覆が損傷したことで発熱や短絡（ショート）により火事になった。

### 《習慣》

- 電気コードの上には、重さに関係なく、家具家電、マットなどを置かないようにしましょう。
- 電気コードを曲げる、巻き付ける、束ねることなどは控えましょう。
- たこ足配線をしないようにしましょう。

### 《対策》

#### ★ 定期的な交換

テーブルタップ（延長コード）の表面上に不具合がなくても、内部で断線している可能性があるため、定期的に交換しましょう。



## たばこ



### 《事例》

- 家の中で歩きたばこをしており、火種が燃えやすいものに落下したことにより火事になった。

### 《習慣》

- 歩きたばこや寝たばこは絶対にせず、決まった場所でたばこを吸うようにしましょう。
- 吸い殻は、水を入れた縁の広い灰皿を使用し、確実に消火しましょう。
- 就寝前や外出する前には、喫煙場所を確認しましょう。

### 《対策》

#### ★ 防災品を使用

布団やシーツ、枕などの寝具類やパジャマ等の衣類は、防災品を使用しましょう。



## 充電式電池（リチウムイオン電池）



### 《事例》

- スマホを夜から翌朝まで充電していたが、過充電により内部のリチウムイオン電池が異常発熱し、火事になった。

### 《習慣》

- 落下等による外部からの大きな衝撃を加えないようにしましょう。
- 膨張や異音、異臭などの異常があった場合は、使用をやめ、メーカーや販売店に相談しましょう。

### 《対策》

#### ★ 純正品を使用

充電式電気掃除機や、工具などで使われる充電式電池は、努めて純正品（メーカー指定のもの）を使用しましょう。

## こんろ



### 《事例》

- 調理中に火を付けたままその場を離れたことによる火事や、こんろの火が着ていた衣服に燃え移ったことにより火事になった。

### 《習慣》

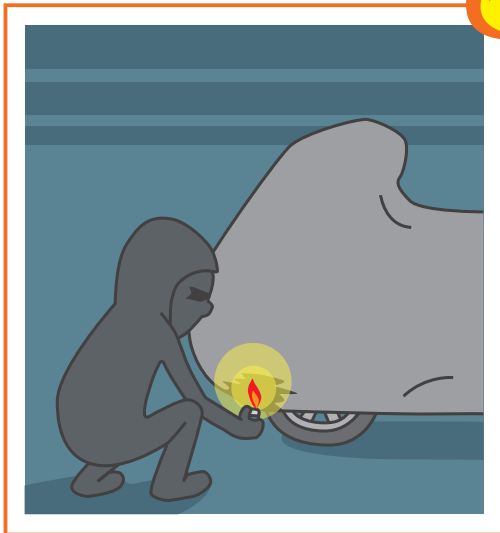
- 料理中にその場を離れるときは、必ず火を消しましょう。
- 料理中は、衣服にこんろの火が燃え移らないように、ゆったりした衣類や袖、裾の広がった衣類は着ないようにしましょう。
- こんろの周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。

### 《対策》

- ★ 安全装置が付いている製品を使用

「調理油過熱防止装置」や「立ち消え安全装置」、「消し忘れ消火機能」などが取り付けられたこんろを使用しましょう。

## 放火



### 《事例》

- 敷地内の駐車場に置いていたバイクカバーに、何者かが火を付けたことにより火事になった。

### 《習慣》

- 家の周りは、整理整頓し、燃えやすいものは置かないようにしましょう。
- 門扉や物置には、鍵を掛け、不審者の侵入を防ぎましょう。

### 《対策》

- ★ センサーライトなどの機器設置や防災品の使用

家の周りや駐車場は、照明やセンサーライト、防犯カメラなどの機器を設置し、車やバイクなどのボディカバーは、防災品を使用しましょう。

## 暖房器具（電気・石油ストーブ）



### 《事例》

- 布団などの寝具類が、ストーブのヒーター部分に接触したことにより火事になった。

### 《習慣》

- 就寝時や外出時には、必ずストーブを消しましょう。
- ストーブの上に洗濯物を干さないようにしましょう。
- カーテンなどの燃えやすいものの近くでストーブを使用することは、やめましょう。
- 必ず火を消してから、ストーブに給油しましょう。

### 《対策》

- ★ 安全装置が付いている製品を使用

転倒時に自動で運転を停止する「転倒時オフ機能」や機器内が異常過熱したときに運転を停止する「過熱防止装置」などが取り付けられた製品を使用しましょう。

# 住宅用火災警報器 しっかり設置！ しっかりお手入れ！

煙などの発生を早期に知らせ、逃げ遅れを防ぐ住宅用火災警報器を設置しましょう。

## 住宅用火災警報器の設置が必要な場所は？

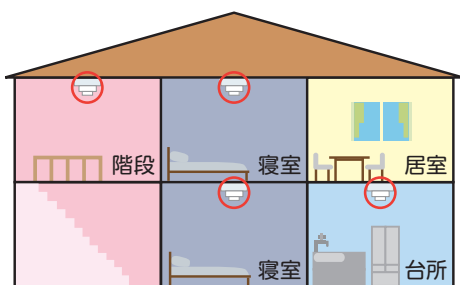
- 寝室 … 就寝中は最も無防備！逃げ遅れを防ぐ
- 階段 … 煙の通り道！大事な逃げ道
- 台所 … 火災発生の危険性大！

## 住宅用火災報知器の種類は？

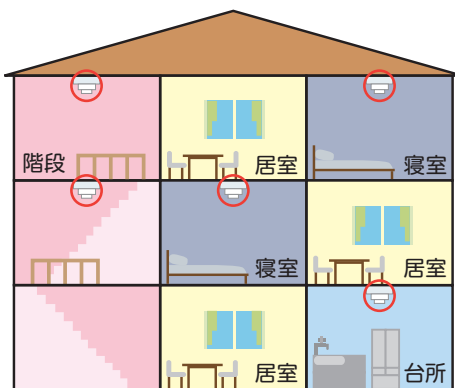
**煙感知式** と **熱感知式** の2種類がある！  
 寝室や階段、居室は煙感知式を設置！  
 台所は、熱感知式又は煙感知式を設置！

## 設置が必要な場所の例

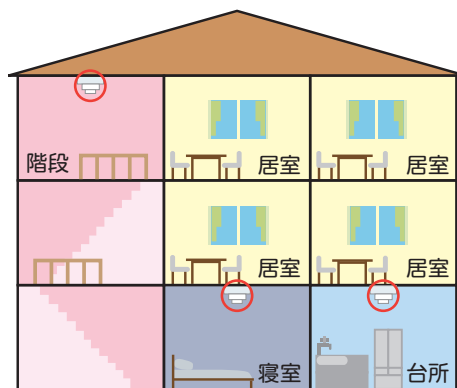
 住宅用火災警報器



※台所は熱感知式とすることができます。



※寝室が2階以上の階にある場合は、寝室がある階の階段にも設置する必要があります。



※3階建ての住宅で、寝室が1階にしかない場合は、3階の階段部分にも設置する必要があります。

住宅用火災警報器の寿命はおおよそ10年です。  
 ～ 10年経ったら交換しましょう ～

点検方法



← 点検ヒモ



↑ 点検ボタン ↑

- 正常** → ○「ピーピーピー」「正常です」 **異常** → ×「ピッピッピッ」「電池切れです」又は反応なし
- ・一年に一度は点検を行い、異常がある場合は本体を交換しましょう。
  - ・点検の方法は本体のひもを引くものや、ボタンを押して点検するものがあります。

防火のお問合せ、御相談は、最寄りの消防署（消防分署）まで。

北消防署 491-4148

上京消防署 431-1371

左京消防署 723-0119

中京消防署 841-6333

東山消防署 541-0191

山科消防署 592-9755

下京消防署 361-4411

南消防署 681-0711

右京消防署 871-0119

西京消防署 392-6071

伏見消防署 641-5355

醍醐消防分署 571-0474

京都市消防局ホームページ  
 京都市消防局 検索



京都市消防局  
 フェイスブック



京都市消防局  
 ツイッター



京都市消防局  
 インスタグラム

